

OKAMURA TODAY 2024-2025

株式会社オカムラ 会社案内

okamura

OKamura

人を想い、場を創る。

自分らしく生きる人を増やし、笑顔があふれる社会へ。
オカムラは人を想い、人が生きる場を創ります。
私たちは創業以来、ものづくりに対する高い志を持ち、
オフィスから商業施設、病院、学校、そして物流施設まで、
多様な場づくりへと事業を展開しています。

Contents

オカムラウェイ	3
価値創造ストーリー	4
ごあいさつ	5
業績ハイライト(連結)・事業別ハイライト	7
中期経営計画2025・地球環境への取り組み	8
オカムラのあゆみ	9
事業紹介	
オフィス環境事業	11
商環境事業	13
物流システム事業	15
パワートレーン事業	16
オカムラの強み	
創造力の源(DESIGN・開発)	17
技術の源(工場)	19
生産拠点・物流体制	21
コミュニケーションプレイス	23
海外拠点・提携	24
サステナビリティの取り組み	25
オカムラの概要	29



人が生きる社会の実現を目指して

サステナビリティの重要性がますます高まる新しい価値観の中、一人ひとりが「生きる」ことこそが社会課題の解決につながる。私たちはその信念と使命感のもとに、場を創っていきます。パーパスである「人が生きる社会の実現」に向け、オカムラウェイを通じて、全ての人々が笑顔で生き活きと働き暮らせる社会の実現に貢献していきます。

オカムラウェイ

オカムラのミッション

**豊かな発想と確かな品質で、
人が生きる環境づくりを通して、社会に貢献する。**

オカムラ宣言

人を想い、場を創る。

自分らしく生きる人を増やし、笑顔があふれる社会へ。
オカムラは人を想い、人が生きる場を創ります。

私たちの基本姿勢

私たちにしかわる、全ての人々の笑顔のために -SMILE-

オカムラグループの従業員一人ひとりが日々の行動の拠りどころとする、5つのアプローチ

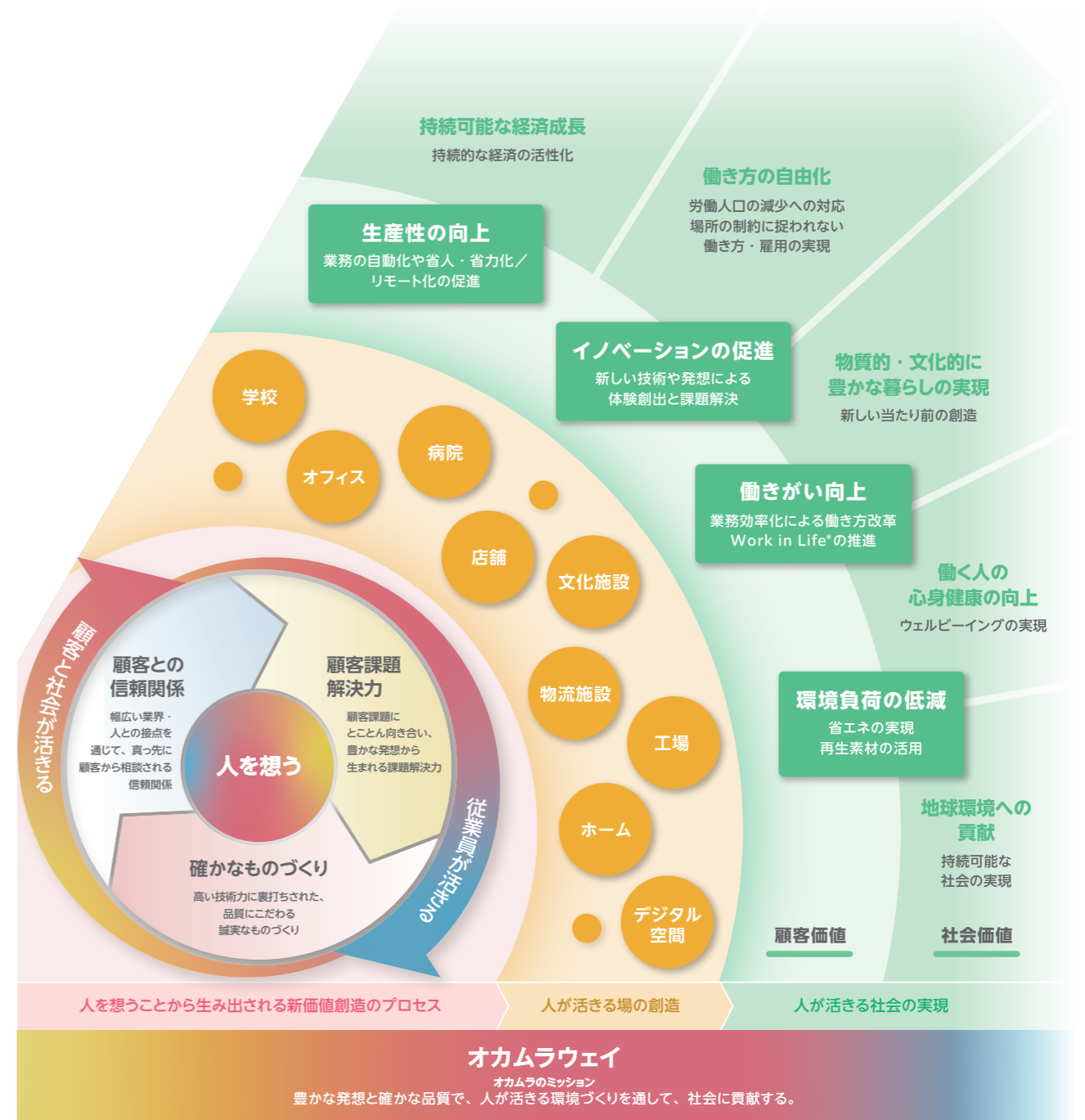
<p>Shine</p> <p>学び・感性を磨くことで、自分が生きる</p>	<p>More</p> <p>果敢に挑戦することで、仕事が生きる</p>	<p>Imagine</p> <p>思いやりを持ち創造することで、相手が生きる</p>	<p>Link</p> <p>多様性を愛し、協力することで、チームが生きる</p>	<p>Expert</p> <p>最良を追求し続けることで、社会が生きる</p>
---	---	--	--	---

オカムラのDNA

<p>創業の精神 協同の工業</p>	<p>社是 創造 協力 節約 貯蓄 奉仕</p>	<p>モットー よい品は結局おトクです</p>
------------------------	------------------------------	-----------------------------

価値創造ストーリー

オカムラグループには「人を想う」ことで培われた3つの強みがあります。「顧客との信頼関係」「顧客課題解決力」「確かなものづくり」私たちの個性ある3つの強みを活かしながら、人が生きる環境の創造を通して新しい価値を生み出しています。そしてその中でオカムラグループの従業員が生き活きと働くことで、「顧客と社会が生きる」という好循環につなげています。



* [Life(人生)にはさまざまな要素があり、その中の一つとしてWork(仕事)がある]という考え方

豊かな発想と確かな品質で、 人が生きる環境づくりを通して、 社会に貢献する。

オカムラグループは、パーパスである「人が生きる社会の実現」に向け、「豊かな発想と確かな品質で、人が生きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をミッションとして、オフィス、教育・医療・研究・商業施設、物流センターなど、さまざまなシーンにおいて、クオリティの高い製品とサービスを提供することに努めています。企業価値のさらなる向上と社会課題の解決に取り組み、すべての人々が笑顔で生き生きと働き暮らせる社会の実現を目指しております。

「人が生きる社会の実現」に向けて重要課題を特定し、4つの分野で取り組みを推進しています。「責任ある企業活動」を経営基盤とし、「従業員の働きがいの追求」によって一人ひとりが働きがいを感ずるとともに、「地球環境への取り組み」を実践することでサプライチェーン全体を通じて環境負荷を低減していきます。事業活動を通じて「人が生きる環境の創造」を実践することにより人が生きる社会の実現に貢献します。



オカムラは1945年、設立の主旨に賛同した技術者たちが、資金、技術、労働力を提供し合って「協同の工業・岡村製作所」としてスタートを切りました。その創業の精神は、「創造、協力、節約、貯蓄、奉仕」の5つの言葉からなる社是と、これを受けた「基本方針」により企業文化として定着し、「よい品は結局おトクです」をモットーに、お客様のニーズを的確にとらえたクオリティの高い製品とサービスを社会に提供することに努めてまいりました。これらは、「オカムラのDNA」として、現在のオカムラグループの経営と事業活動に受け継がれております。

オカムラグループは、持続的な成長に向け、新たな需要の創出と変化に対応できる経営基盤強化を図るとともに、事業を通じた社会課題解決に取り組みます。2024年3月期から2026年3月期までの3カ年を対象とする「中期経営計画2025」を策定しております。「新たな需要の創出」を目指して、時代の流

れを捉え、提案力と製品力を磨き、「需要創出型企業」への変革を加速します。経営基盤の強化として、「人材育成と働きがいの向上」「デジタル技術活用」の加速、「多品種変量生産への対応」「市場に根ざした海外事業の展開」の4つのテーマを掲げています。また、2050年カーボンニュートラル実現に向けた長期的な取り組みを着実に実行するとともに、持続可能な社会づくりに貢献します。

オカムラグループは、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを通じて社会に貢献し、「人が生きる社会の実現」を目指します。

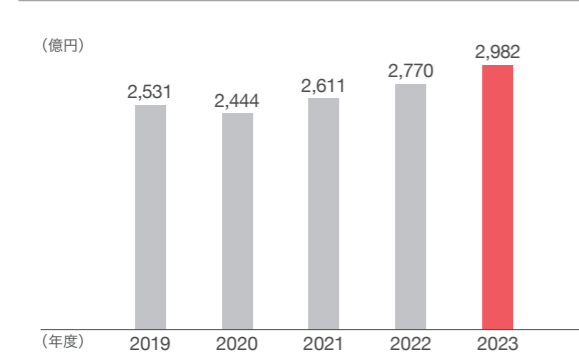
今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員

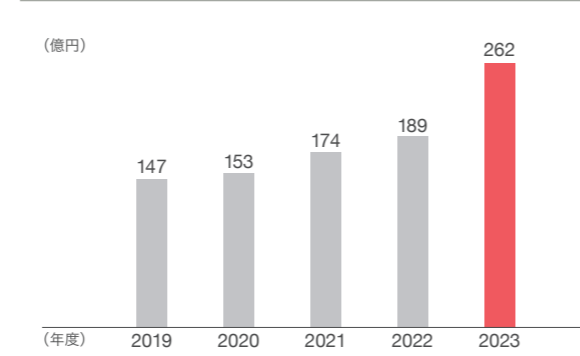
中村 雅行

業績ハイライト(連結)

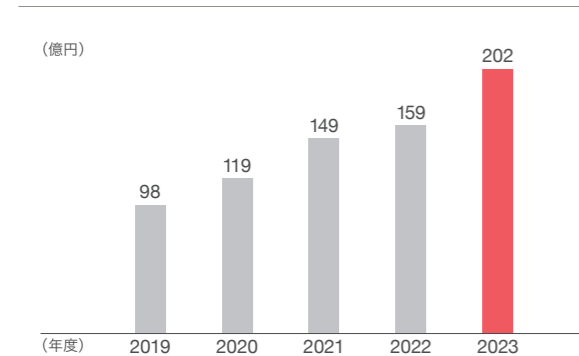
売上高 **2,982** 億円



経常利益 **262** 億円

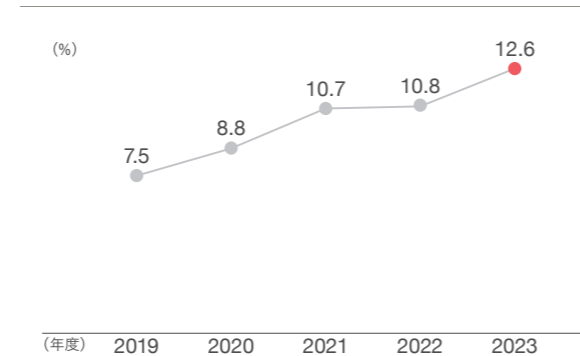


当期純利益* **202** 億円



*親会社株主に帰属する当期純利益

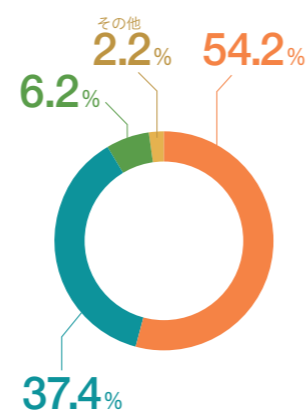
ROE (自己資本当期純利益率) **12.6** %



事業別ハイライト

	売上高	営業利益
オフィス環境事業	1,616 億円	176 億円
商環境事業	1,116 億円	51 億円
物流システム事業	183 億円	9 億円

売上高構成比



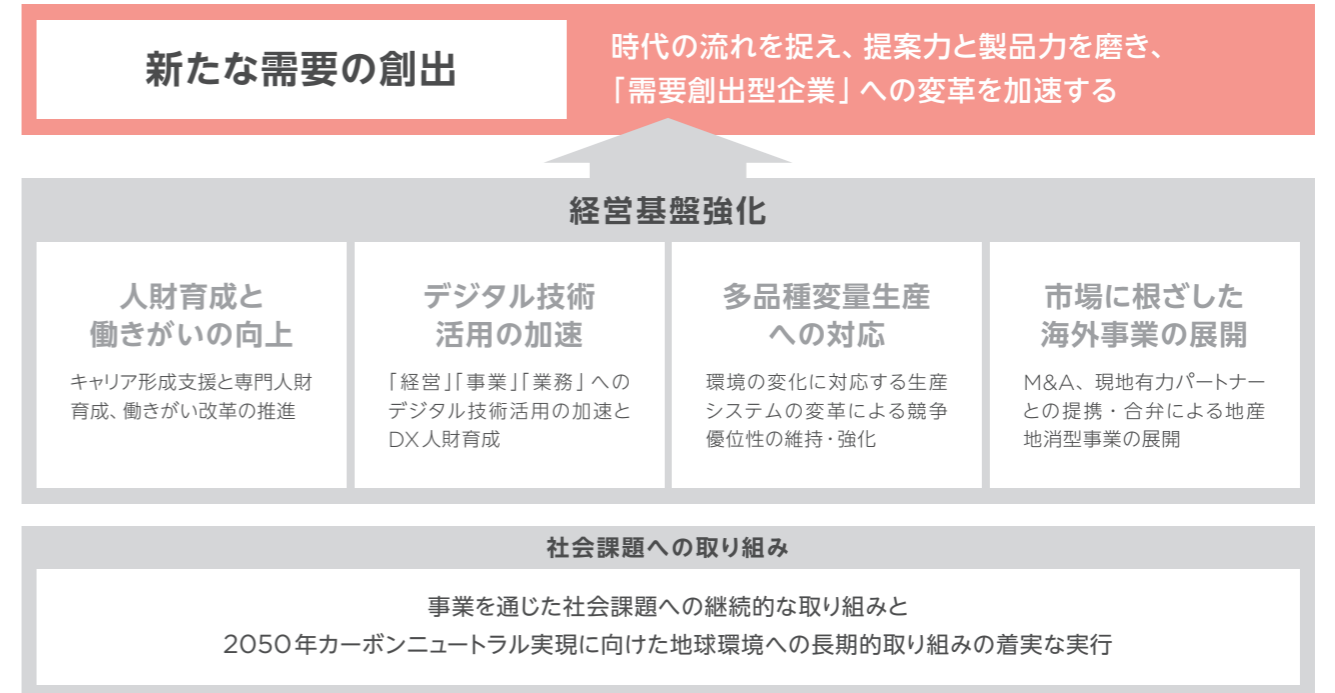
(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

中期経営計画 2025

2023年5月策定：2023年度から2025年度(2024年3月期から2026年3月期)を対象

オカムラは、当連結会計年度である2024年3月期から2026年3月期までの3カ年を対象とする「中期経営計画2025」を策定しています。直近の業績および事業環境を踏まえ、2024年5月10日に定量目標を上方修正しました。

■ 中期経営計画 2025で目指すもの



■ 定量目標 (2026年3月期)

売上高	営業利益	営業利益率	ROE (自己資本当期純利益率)
3,250 億円以上 (修正前3,000億円以上)	270 億円 (修正前240億円)	8.0 %	10.0 %

地球環境への取り組み

2050年カーボンニュートラル実現に向けて

温室効果ガスの目標値

オカムラグループは、2050年を見据えたカーボンニュートラル実現を目指します。そのマイルストーンとして、2030年度のCO₂排出量の削減目標を2020年度比50%としました。この削減目標は、パリ協定に準じた世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑えるための科学的根拠に基づいた目標であるとして、国際的なイニシアチブ「SBTi (The Science Based Targets initiative)」による認定を取得しています。カーボンニュートラルの実現に向けこれまでの活動をさらに強化するとともに、長期的取り組みの着実な実行により、脱炭素社会実現に貢献していきます。

年	削減率
2020年	0%
2030年	50%削減
2050年	実質0

創業 1945

10月10日岡村製作所創業
神奈川県横浜市磯子区岡村町



1947 米軍クラブ家具製造



ガーデンテーブル・チェア製造

1948 株式会社に改組

トルクコンバータ研究開発開始

受け継がれ、 生き続ける ものづくりの神髄

オカムラは創業以来、「よい品は結局おトクです」をモットーに、オフィスをはじめ、教育・医療・研究・商業施設、そして物流センターなど、さまざまなシーンにおいて、質の高い製品とサービスを提供しています。あらゆる分野の知識・技術を生かした「総合力」を強みとし、快適な空間創造を目指します。



*1955年、日本初のFFオートマチック車「ミカサ」を開発
2015年7月、「ミカサ」に搭載した1951年開発のトルクコンバータが、一般社団法人日本機械学会により「機械遺産」に認定されました。「ミカサ」のものづくりの遺伝子は、現在のオカムラの製品づくりに受け継がれています。

1950 — 1980

- 1950 東京事務所新設(港区新橋田村町)
- 1952 神奈川工場新設(横浜市西区北幸町)
- 1953 戦後初の国産飛行機「N-52」完成 
- 1955 日本初のFFオートマチック車「ミカサ」開発*
- 1957 第4回全日本自動車ショウ「ミカサマーク1」「ミカサスポーツ」出品 
- 東京営業所・ショールーム開設(千代田区永田町) 
- 1958 道浜工場操業開始
- 1960 (株)関西岡村製作所(大阪)設立
IBMパンチカードシステム導入、事務作業の機械化
- 1961 東京証券取引所市場第二部上場

- 1969 (株)岡村運輸設立
産業用ロボット開発
- 1970 東京ショールーム完成 
- 富士工場(静岡)竣工
東京証券取引所市場第一部上場
- 1974 高島工場(山形)竣工
ニューオータニ・ショールーム開設
- 1976 空圧式ロボット「RC-04型」開発 
- 1982 「オカムラのOA戦略」出版
- 1987 Siam Okamura Steel Co., Ltd. 設立
- 1988 (株)JTオカムラ(岡山)設立
- 1989 (株)オカムラ物流設立

オフィス環境事業

- 1951 スチールデスク・イス生産開始
- 1955 集合住宅用家具「Uライン」発売 
- 1956 スチール家具「DXライン」発売 
- 1957 スチール製事務用デスク「31シリーズ」「36シリーズ」発売
スチール製事務用デスク・チェアを「オフィスマスター」の名称で発売 
- 1962 第1回「オカムラビジネスショー」開催 
- PR誌「イスの科学」発行
- 1963 折りたたみイスが初の「グッドデザイン賞(Gマーク)」受賞
- 1964 ジュニアデスク・イス発売
米国オールスチール社技術提携(デスク、イス)
- 1966 「インターウォール」発売 




- 1968 米国展示会NOPA(ニューヨーク)出品
- 1975 建設設備展「オカムラパウ」開催
システムキッチン生産開始
- 1976 移動間仕切「フェローウォール」発売 
- システム収納「スリムライン」発売
- 1977 「20シリーズチェア」発売 
- 1978 イタリア製システムキッチン「サルパレーニ・ロングライン」発売 
- 1980 オフィス研究所発足
本社OA対応型オフィスを公開
- 1981 ローバーティション「N50型」発売
- 1984 デスクシステム「D-10シリーズ」発売 
- 1986 エルゴノミクスチェア「28シリーズ」発売 
- 1988 「ニューオフィスがわかる本」出版

商環境事業

- 1957 ストア用陳列棚(ゴンドラ)発売 
- ストア用陳列棚「ローボーイ」発売 
- 1961 スチール製ゴンドラ「セルター」シリーズ発売
- 1963 米国L.A.ダーリン社技術提携(システムゴンドラ) 

- 1969 米国タイラー社技術提携(冷凍冷蔵ショーケース) 
- オカムラタイラー(株)設立
日本初の店舗システムショー第1回JAPAN SHOP出展
- 1972 システム陳列什器「オムデイス」発売
- 1978 ノンデフロストシステムの冷蔵ショーケース発売 
- 1989 新店舗情報誌「Stores of The Month」発行

物流システム事業・その他


- 1951 トルクコンバータ生産開始 
- 1957 小型フォークリフト用トルクコンバータ開発
トルクコンバータ工業展出版 
- 1970 米国パーマーシャイル社技術提携
「G1型重量棚(パレットラック)」生産開始
国産初のボルトレスラック「G3型軽量棚」発売 


- 1973 米国エルマンコ社技術提携(コンベヤ)
- 1976 国際物流機械展出展
- 1978 「ロータリーラック」発売 
- 1982 米国ヘロータリーラックの技術輸出
- 1987 縦型多列独立回転棚「ロータリーラックM」発売 

1990

- 1990 つくば工場(茨城)竣工
- 1991 横浜物流センター竣工
(株)エヌエスオカムラ(岩手)設立
- 1992 Okamura International (Singapore) Pte Ltd 設立
- 1994 (株)オカムラビジネスサポート設立
- 1996 Siam Okamura International Co., Ltd. 設立
- 1997 中井事業所(神奈川)竣工
- 1998 (株)エフエム・ソリューション設立
- 1999 (株)オカムラサポートアンドサービス設立

- 1991 オカムラ ガーデンコートショールームオープン
統合型オフィスファニチュア「Fシリーズ」発売 
- 1996 「ワークプレイス戦略」出版
- 1997 次世代オフィスシステム「プロフィス」発売 
- 1998 「変革するワークプレイス」出版
- 1999 多目的ミーティングファニチュア「プロスタック」発売

- 1990 AVソフト・CD什器発売
- 1993 スライド機能付き陳列棚発売
- 1998 冷凍冷蔵ショーケース「フォンターナ」発表 


- 1993 3次元搬送システム「スペースホーク」発売 
- 1995 スウェーデンOCS社技術提携(オーバーヘッドコンベヤシステム)

2000

- 2000 (株)ヒル・インターナショナル設立
ISO14001全社統合審査登録
- 2003 第1回オカムラデザインスペースR開催
- 2004 上海岡村家具物流設備有限公司(中国)設立
- 2005 シーダー(株)を子会社化
- 2006 鶴見事業所(神奈川)竣工
- 2008 (株)富士精工本社を子会社化
シカゴショールーム開設
- 2009 オカムラいすの博物館開設 
- セック(株)を子会社化

- 2000 オフィスシーティング「エルシオ」発売
- 2001 (株)富士精工本社と販売契約、セキュリティ事業に参入
- 2002 ORGATEC 2002(独)初出展「Contessa」を発表
- 2003 エルゴノミックメッシュチェア「コンテッサ」発売 
- SECURITY SHOW 2003初出展
NeoCon 2003(米)出展、「Contessa」を発表
- 2004 EIMU 2004(伊)出展
- 2005 「オフィス進化論～オフィスはどこへ向かうのか～」出版
エルゴノミックメッシュチェア「パロン」発売 
- パーソナルワークステーション「クルーズ&アトラス」発表
- 2007 「The Office Exhibition 2007」(UAE・ドバイ)出展
- 2009 ラボオフィス開設 

- 2001 第1回JAPANドラッグストアショー出展
- 2002 スーパーマーケットトレードショー出展
- 2008 店舗用システム什器「Visplay」発売
オカムラVisplayショールーム開設 

- 2001 簡易制御機能付コンベヤ「ライトローラー」発売 
- 2002 第3回国際建設機械展示会「bauma China 2002」多段型トルクコンバータ展示
- 2008 高速仕分け機器「ラインベルトソーターNBS Wave」発売

2010

- 2010 (株)Td Japan設立
- 2013 杭州岡村伝動有限公司設立
Salottoグループを子会社化
砂畑産業(株)を子会社化
(株)イチエを子会社化
上海岡村建築裝飾有限公司設立
- 2014 岡村貿易(上海)有限公司設立
- 2015 PT. Okamura Chitose Indonesia設立
日本初のFFオートマチック車「ミカサ」のオートマチック・トランスミッションが「機械遺産」に認定*(P9)
- 2018 (株)オカムラに社名変更
Okamura International Malaysia Sdn. Bhd. 設立




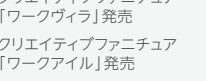
- 2014 第33回中国(広州)国際家具博覧会(CIFF)出展
- 2015 上下昇降デスク「スイフト」発売 
- Open Innovation Biotope「Sea」開設(東京)
- 2016 「WORK MILL(ワークミル)」活動開始
- 2017 オフィスシーティング「コンテッサ セコンダ」発売
- 2018 オフィスファニチュアシリーズ「ライブス」発売 
- ワークブース「テレキューブ by オカムラ」発売 
- オフィスシーティング「フィノラ」発売
- 2019 未来のオフィス空間「point O marunouchi」開設


- 2014 カート機器発売
- 2015 ショーケースナビゲーションシステム「オスコムクラス」発売 
- 2017 冷凍機内蔵型ショーケース「ゴンドララインケース」発売 

- 2010 天井搬送システム「スマートホーク」発売
- 2012 自動入庫・仕分けシステム「ロータリーソーター」発売 
- 2014 ロボットストレージシステム「AutoStore(オートストア)」発売 
- 2015 パレットストレージシステム「サイビスター」発売
- 2016 GROUND社業務提携(自動搬送ロボット)

2020-

- 2020 Okamura International Vietnam Co., Ltd. 設立
- 2021 経営理念を体系的に整理し「オカムラウェイ」策定
DB&B Holdings Pte.Ltdを子会社化
(株)NovolBa 設立
- 2022 浙江杭又奥卡姆拉智能科技有限公司設立
杭州奥卡姆拉家具有限公司設立

- 2020 デジタルトランスフォーメーションサービス「Work x D」発表
オフィスシーティング「シナーラ」発売
- 2021 ポータブルバッテリー「OC(オーシー)」発売 
- クリエイティブファニチュア「ワークキャリアー」発売 
- タスクシーティング「スフィア」発表 
- 2022 クリエイティブファニチュア「ワークヴィラ」発売 
- 2023 クリエイティブファニチュア「ワークアイル」発売

- 2020 冷凍冷蔵ショーケース「フォンターナネオ」発売 
- 2021 商品陳列棚「SUGスライドレール棚」発売
- 2024 お店の未来を創造する研究所発足

- 2020 米国RightHand Robotics社提携(ロボットピッキングシステム) ロボットピッキングシステム「RightPick(ライトピック)」発売
物流システムショールームLUX(ルクス)開設
- 2021 パレットストレージシステム「サイビスター2」発売 
- 2022 自律移動ロボット「ORV」発売

オフィス環境事業

OFFICE FURNITURE

多様な働き方が求められるオフィスから、さまざまな人が集う教育施設、劇場、ミュージアムなどの文化施設、専門性の高い研究施設や医療・高齢者施設まで、機能性と快適性を追求した製品とサービスを通して、最適な空間を提案しています。その他、諸官庁や自治体、金融機関、一般家庭まで、多彩な製品とサービスを提供しています。

VALUE FLOW



オフィス



執務スペース



執務スペース

教育施設



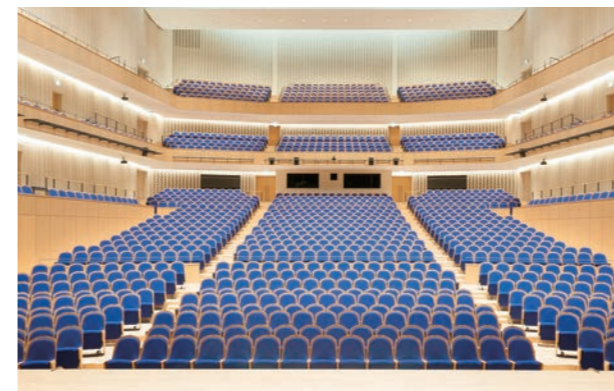
教育施設向け家具

図書館



図書館本棚

文化施設



ホール椅子

医療施設



ロビー・待合

研究施設



実験室と研究オフィス

自治体庁舎



窓口・ロビー

ホーム



在宅ワーク家具

セキュリティ



セキュリティゲート



商環境事業

STORE DISPLAYS

社会環境や市場の変化に伴い、小売業は常に新しい店舗づくりを求められます。オカムラは小売業を取り巻く環境の変化をいち早く捉え、デザイナーによるレイアウトや内装のプランニングから什器の製造、施工、メンテナンスまで、店舗づくりをトータルにサポート。システム陳列什器、冷凍冷蔵ショーケース、専用陳列什器から、バックヤード什器まで、幅広い品揃えでさまざまなニーズにお応えします。

VALUE FLOW



スーパーマーケット



冷凍冷蔵ショーケース



システム陳列什器

ドラッグストア



システム陳列什器

ホームセンター



システム陳列什器

文具・雑貨



専用陳列什器

書店



専用陳列什器

コスメショップ



専用陳列什器

道の駅・直売所



専用陳列什器

アウトドア・アパレル



専用陳列什器

家電・ホビー



専用陳列什器

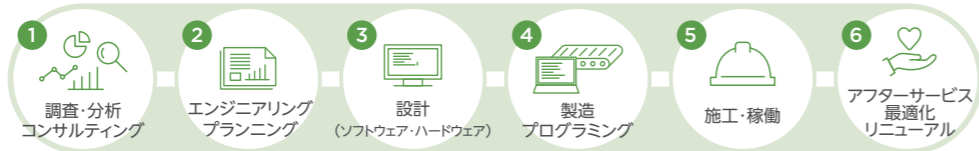


物流システム事業

MATERIAL HANDLING SYSTEMS

ロジスティクスの合理化を追求し、実践を通して、常に新しい物流システム機器を開発、提供しています。より「早く」「正確に」「安全な」物流作業を実現し、経営メリットを生み出すための物流システムの改善の提案から、ソフトウェアの開発、機器導入、運用支援、アフターサービスまで、トータルにお手伝いします。

VALUE FLOW



ロータリーラック・自動倉庫



多段式独立水平回転棚 (ロータリーラック)



ロボットストレージシステム



スタッカークレーン式自動倉庫

搬送・仕分け機器



仕分け機器

ロボット



自律移動ロボット



ピースピッキングロボット

固定・移動・流動棚



固定棚

作業台・周辺機器



作業台



防護柵

パワートレイン事業

POWERTRAIN

産業・建設車両の心臓部であるトルクコンバータやトランスミッションを開発・製造しています。多岐にわたる研究を生かして、要望に沿ったカスタマイズを可能にし、質の高い製品を効率的に生産、徹底した品質管理のもと、製品を提供しています。

VALUE FLOW



パワートレイン (流体変速機)



除雪車用トランスミッション



フォークリフト用トルクコンバータ付トランスミッション

創造力の源 | DESIGN・開発

空間に、新たな価値を見出す創造力

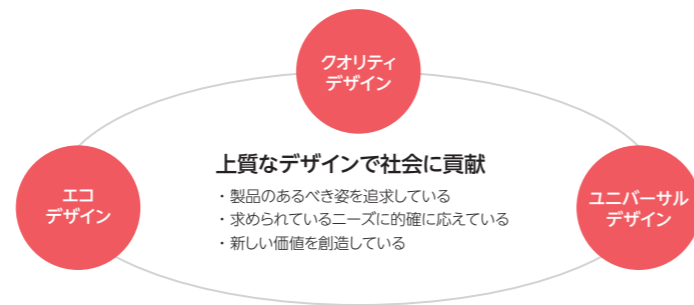
時代とともにライフスタイルやワークスタイルが移り変わり、空間に求められる要件も変化します。

オカムラは、そうしたニーズに的確に対応しながら、製品のあるべき姿を追求してきました。

オフィスをはじめ、教育・医療・研究・商業施設・物流施設に至るまで、理想の空間づくりを通し、新たな価値を創造していきます。

オカムラグループのデザインポリシー

創業以来「人間の環境づくり」をテーマに培ってきたハードとソフトのノウハウを源に、魅力ある環境を次世代へ引き継ぐために、デザインポリシーの3つの視点を重視しています。誰もが豊かさを実感できる製品づくりへ、オカムラはこれからも機能性や安全性などとともに上質なデザインを極めていきます。



クオリティデザイン

お客様にとって真に価値のある製品を追求

製品の本質を追求し、お客様にとって真に価値のある製品を提供することを目指しています。製品のあるべき姿を求めて、ものづくりを極め、魅力ある新たな価値を創造します。具体的には、安全性の確保はもとより、人間工学に基づいた設計をはじめ、快適性の向上、創造性を高める環境の実現などに取り組み、常にお客様のニーズに的確に応えられるような製品開発を行っています。

エコデザイン

製品のライフサイクル全体の環境負荷を低減

原材料の選択から使用後の処理まで、製品のライフサイクル全体において環境負荷がより少ない製品を開発し、お客様に提供することで、持続可能な社会づくりに貢献します。そのために、製品の企画・デザイン・設計の各段階で製品アセスメントを実施するとともに、独自の環境基準による認定を行っています。

ユニバーサルデザイン

誰もが快適に使用できる製品や空間を創造

誰もが豊かさを実感できるデザインを追求し、製品と空間を使用すると考えられる多様な人を想定して開発を行っています。製品の基本性能を高めるとともに、オプションの追加やカスタマイズにより、安全性や快適性、適応性、わかりやすさ、情報へのアクセスなど、全てのユーザーにとって使いやすい製品と空間を提案することを目指しています。

国内外での表彰実績

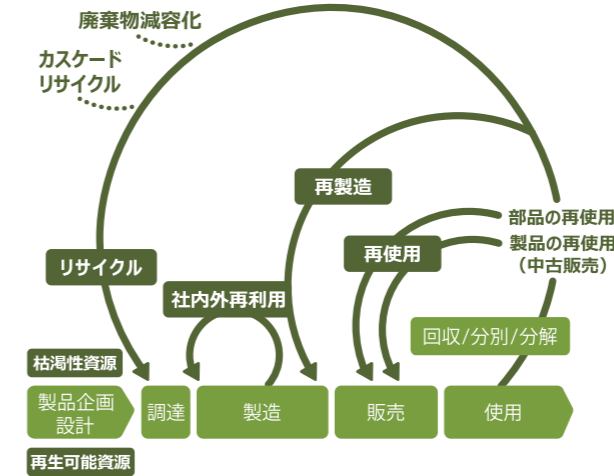


製品開発における環境への取り組み

オカムラグループは、サーキュラーエコノミー(循環型経済)の概念から策定した「サーキュラーデザイン」の考え方に基づき製品開発を行っています。製品企画・設計から調達、製造、販売、メンテナンス、リユース・リサイクルに至るまでの製品ライフサイクルの中で、限りある資源をより長く有効に使用し、廃棄物の発生を最小化するものづくりを目指すことで、環境負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。

目指すべき姿

地球環境への配慮を徹底し、持続可能な社会づくりに貢献します



GREEN WAVE (グリーンウェーブ)

GREEN (環境配慮)のWAVE (波)を自ら起こし、その波に乗るといふ「GREEN WAVE (グリーンウェーブ)」の考えのもとに、1997年より製品に関するオカムラ独自の環境基準を策定し運用しています。環境に配慮した製品を7つの基準(省資源化、再生材料の利用、再資源化、再使用化、長寿命化、安全性と環境保全、省エネルギー化)に基づき認定し、推奨製品として「グリーンウェーブ」「グリーンウェーブ+(プラス)」マークを表示しています。これらの基準を満たした製品をお客様に提案し採用いただくことを通じて、環境負荷の低減に寄与します。



技術の源 | 工場

蓄えた技術を糧に、新たな価値へ挑む

これまで蓄積された加工技術を糧に、あらゆる加工を自社で行う技術力こそ、オカムラのものづくりの誇りです。特に創業時における航空機の薄板加工にさかのぼる金属加工は技術の源とも言えます。オカムラは、こうした技術資産を力に、最先端のシステムやツールも活用しながら、社会のニーズに的確に応えるものづくりに挑み続けます。

製造技術

長年培ってきた自社加工技術

製造工程におけるさまざまな加工技術を社内に蓄積し、製品に必要なあらゆる加工を自社で行っています。中でも金属加工の歴史は長く、1945年の創業時に備えていた航空機の薄板加工までさかのぼります。現在も「技術技能訓練センター」での社内教育や「国家技能検定」の取得推進によりスペシャリストの育成に努め、伝統の金属加工技術を確実に継承しています。製造現場には、オカムラ独自の生産管理方式OPS (OKAMURA PRODUCTION SYSTEM)を導入。付加価値を生まないムダなものを徹底的に排除するとともに、ロボットを活用した自動化を積極的に進め、生産性の向上と品質の安定化につなげています。



スチール加工



樹脂成形



無人生産ライン



縫製



張り



塗装



組み立て



木加工



品質管理

独自の基準を設けて品質と安全性を確保

製品を長く安心してお使いいただくために、JIS (日本工業規格)や海外規格を参考に、厳しい社内基準を適用しています。各種解析、試作品による性能試験と耐久性試験を繰り返し行い、製品の品質と安全性を評価・確認しています。



耐久検査



機械遺産に認定された技術

戦後、多くの企業が復興のために日用必需品の生産から再起を図ったように、オカムラも「生きる」ために需要のある日常生活用品の製造から始めました。しかし、航空機の技術者であった創業者の吉原謙二郎をはじめとする技術者たちの「動く製品」開発への夢や情熱がやがて「トルクコンバータ (流体変速機)」の開発へ動き出す原動力となり、1951年、初の純国産のトルクコンバータを開発。そして、変速機を組み合わせ、日本初のトルクコンバータ式オートマチック・トランスミッションを採用した四輪自動車「ミカサ」を1955年に生み出しました。2015年7月、「ミカサ」に搭載した1951年開発のトルクコンバータが、一般社団法人日本機械学会により「機械遺産*」に認定されました。「ミカサ」のものづくりの遺伝子は、現在のオカムラの製品づくりに受け継がれています。



*歴史に残る機械技術遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術に関わる歴史的遺産を一般社団法人日本機械学会が認定するものです。



独自の生産管理方式「OPS (OKAMURA PRODUCTION SYSTEM)」

生産性を高める「効率」の追求

「OPS」は、お客様から注文されたものをより早く届けるために、最も短い時間で効率的に造る、作り方の合理性を徹底追求した生産方式です。生産性の向上と、品質の安定化を図り、ものづくりに強い企業体質を構築しています。

部品形状を認識できる視覚能力を持ったロボットによる無人生産ラインなど、最新の設備による自動化を進めています。(写真)



後進の育成

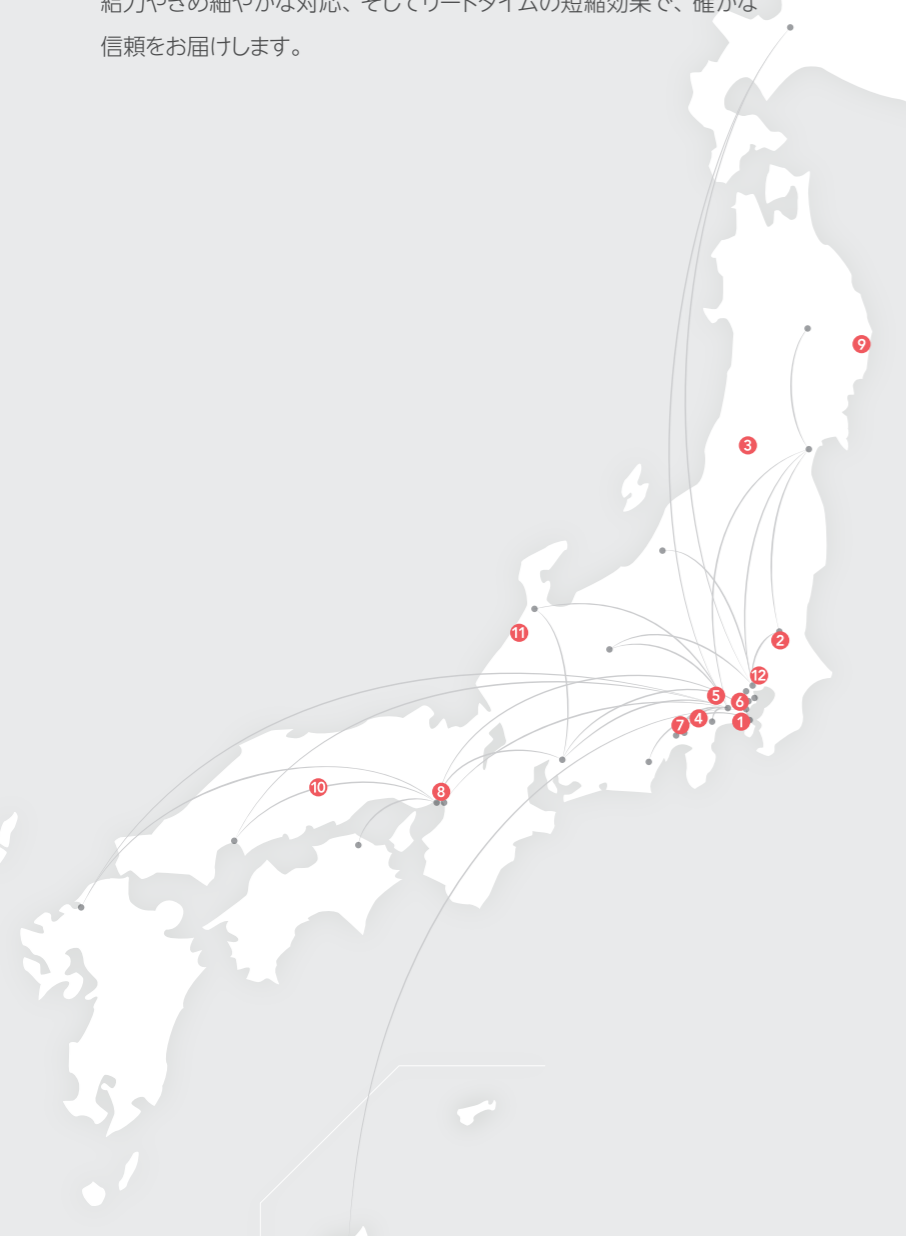
クオリティを支える人材の育成

次世代の技術者を養成するため、「技術技能訓練センター」では長年にわたって培ってきた高度な技術・技能の継承に努めています。多様な教育訓練コースを設け、オカムラ製品のクオリティの確保、向上に結びつけています。



生産拠点・物流体制

業界最多の国内生産拠点で生み出されるオカムラ製品。徹底した品質管理により実現する高いクオリティはもちろんのこと、安定した供給力やきめ細やかな対応、そしてリードタイムの短縮効果で、確かな信頼をお届けします。



1 追浜事業所
 神奈川県横浜須賀野浦郷町5-2944-1
生産品目 オフィスシーティング/ロビーチェア/ミーティングチェア・テーブル/流体変速機
 ISO9001登録 ISO14001登録



2 つくば事業所
 茨城県つくば市緑ヶ原1-2-2 テクノパーク豊里工業団地
生産品目 システム収納家具/ワークブース/各種ローパーテーション/医療・研究施設用什器/文教施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



3 高島事業所
 山形県東置賜郡高島町大字野目北原五2635
生産品目 高級木製デスク/木製会議テーブル/木製収納家具/ソファブース/医療・研究施設用什器/文教施設用什器/商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



4 富士事業所
 静岡県御殿場市大坂102-1
生産品目 移動・可動間仕切り/物流システム製品/商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



5 富士事業所 中井工場
 神奈川県足柄上郡中井町境390
生産品目 商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



6 富士事業所 鶴見工場
 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-2-17
生産品目 グリーンルーム用コンベヤシステム
 ISO9001登録 ISO14001登録



7 御殿場事業所
 静岡県御殿場市柴野田字キタ744
生産品目 冷凍冷蔵ショーケース
 ISO9001登録 ISO14001登録



8 (株)関西オカムラ
 大阪府東大阪市稲田上町2-8-63
生産品目 クリエイティブファニチュア/デスク/医療・研究施設用什器/公共施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



9 (株)エヌエスオカムラ
 岩手県釜石市鈴子町23-15
生産品目 デスクシステム/物流システム製品/研究室用システム什器/ヘルスケア什器/書架・物品棚・移動棚
 ISO9001登録 ISO14001登録



10 (株)山陽オカムラ
 岡山県高梁市間之町1
生産品目 オフィスシステム/デスクシステム/システム収納家具/商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



11 (株)富士精工本社
 石川県能美市大浜町ヤ25
生産品目 金庫室・貸金庫/セキュリティ機器/防水設備・原子力/電子システム
 ISO9001登録 ISO14001登録



12 砂畑産業(株)
 東京都足立区西保木間4-13-1
生産品目 商業施設用什器

物流体制

広域物流センター

- 横浜物流センター
- 鶴見物流センター
- 大阪物流センター
- 綾瀬物流センター



地域配送センター

- 札幌配送センター
- 仙台配送センター
- 首都圏ディストリビューションセンター
- 静岡配送センター
- 中部配送センター
- 広島配送センター
- 福岡配送センター

リレー・センター(中継拠点)

- 盛岡リレー・センター
- 新潟リレー・センター
- つくばリレー・センター
- 長野リレー・センター
- 金沢リレー・センター
- 高松リレー・センター
- 沖縄リレー・センター

生産拠点倉庫

- 追浜配送
- 富士配送
- 高島配送
- つくば配送
- 御殿場配送
- 中井配送

関連会社倉庫

- 関西オカムラ配送
- エヌエスオカムラ配送
- 山陽オカムラ配送



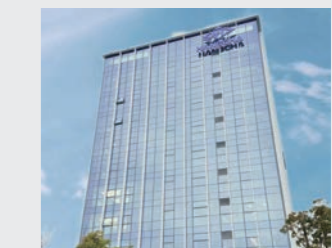
Siam Okamura Steel Co.,Ltd.
 51/5 Moo 2 Poochao Rd.,Bangyaprak, Phrapradaeng, Samutprakarn, 10130, Thailand
生産品目 東南アジア市場向けオフィス家具・商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



杭州岡村伝動有限公司
 中国浙江省杭州市臨安区青山湖街道大园路2799号
生産品目 中国における流体変速機
 ISO9001登録 ISO14001登録



杭州奥卡姆拉家具有限公司
 中国浙江省杭州市臨安区青山湖街道大园路2799号
生産品目 中国市場向けオフィスシーティング



浙江杭又奥卡姆拉智能科技有限公司
 中国浙江省杭州市臨安区青山湖街道大园路2799号
生産品目 スタッカークレーン

Communication Place

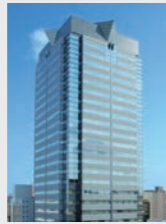
オカムの各種製品を確認いただけるショールームを、国内外で展開しています。また、新しい働き方や環境を実験・検証している「ラボオフィス」や、お客様や学生、地域の方などさまざまなステークホルダーの課題解決・価値創造ニーズに応える共創活動のための「共創空間」を全国に展開しています。

国内ショールーム

※2024年7月現在の情報です。最新情報はウェブサイトをご確認ください。
<https://www.okamura.co.jp/showroom/>



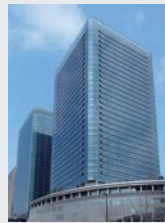
ガーデンコートショールーム
 東京都千代田区紀尾井町4-1
 ニューオータニ・ガーデンコート3F
 電話：03(5276)2001
 開館：午前10時～午後5時
 休館日：土曜、日曜、祝日
 予約制



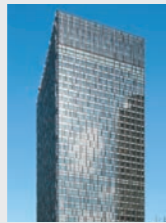
仙台ショールーム
 宮城県仙台市青葉区花京院1-1-20
 花京院スクエア12F
 電話：022(712)1531
 開館：午前10時～午後5時30分
 休館日：土曜、日曜、祝日
 予約制



福岡ショールーム
 福岡県福岡市博多区博多駅前1-3-3
 明治安田渡辺ビル1F
 電話：092(482)8833
 開館：午前10時～午後5時
 休館日：土曜、日曜、祝日
 予約制



大阪ショールーム
 大阪府大阪市北区大深町4-20
 グランフロント大阪 タワーA 21F
 電話：06(4802)3370
 開館：午前10時～午後5時
 休館日：土曜、日曜、祝日
 予約制



名古屋ショールーム
 愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12
 大名古屋ビルヂング14F
 電話：052(551)3170
 開館：午前10時～午後5時30分
 休館日：土曜、日曜、祝日
 予約制 ※法人顧客専用



Visplayショールーム
 東京都千代田区内神田1-1-7 東大手ビル1F
 電話：03(3259)6028
 開館：午前10時～午後5時
 休館日：土曜、日曜、祝日
 予約制



物流システムショールーム LUX (ルクス)
 静岡県御殿場市大坂102-1
 電話：03(6700)8041(物流システム営業部)
 開館：午前10時～午後5時
 休館日：土曜、日曜、祝日
 予約制 ※法人顧客専用

ラボオフィス



Photo:Nacasa & Partners Inc.



We Labo (ウィラボ)
 東京都千代田区

CO-RiZ LABO (こうりつらぼ)
 東京都中央区

CO-D6 LABO (こうどうらぼ)
 東京都港区

CO-EN LABO (こうえんらぼ)
 東京都渋谷区

KIZUKI LABO (きづきらぼ)
 大阪府大阪市

MEBAE LABO (めばえらぼ)
 宮城県仙台市

MENNOLU LABO (みのるらぼ)
 愛知県名古屋市

HAPPI LABO (はっぴらぼ)
 福岡県福岡市

共創空間



Photo:Norihito Yamauchi



Open Innovation Biotope "Sea"
 (東京)

Open Innovation Biotope "Cue"
 (名古屋)

Open Innovation Biotope "bee"
 (大阪)

Open Innovation Biotope "Tie"
 (福岡)

Global Network

オカムの製品は国内・海外の工場施設で生産され、一貫管理された物流ネットワークを通じて世界各地へ送り出されています。海外との技術提携、販売提携をはじめ、国内外の関連会社、50カ国以上の販売提携先が本社・支社と強力に連携しながら、品質とサービスの向上に努めています。

海外拠点

北米	シカゴ シカゴ支店	欧州	ロッテルダム ロッテルダム支店	ロンドン ロンドン支店
アジア	上海 奥卡姆拉(中国)有限公司 中国におけるオフィス家具、物流システム製品、商業施設用什器の販売 支店 北京/成都	シンガポール Okamura International (Singapore) Pte Ltd シンガポール、近隣東南アジア諸国へのオフィス家具、商業施設用什器の販売	シンガポール DB&B Holdings Pte.Ltd シンガポール、中国、近隣東南アジア諸国におけるオフィス向けデザイン、内装工事 支店 上海/フィリピン/バンコク	クアラルンプール Okamura International Malaysia Sdn. Bhd. マレーシアにおけるオフィス家具、商業施設用什器の販売
バンコク	Siam Okamura International Co.,Ltd. タイ、近隣東南アジア諸国へのオフィス家具、商業施設用什器の販売 支店 チョンプリ	ジャカルタ PT. Okamura Chitose Indonesia インドネシアにおけるオフィス家具、商業施設用什器の販売	ホーチミン Okamura International Vietnam Co., Ltd. ベトナムにおけるオフィス家具、商業施設用什器の販売 支店 ハノイ	

海外ショールーム

シカゴショールーム 222 Merchandise Mart Plaza, Suite 1100, Chicago, IL 60654, USA 電話：+1-312-645-0115	上海ショールーム Unit 8, 7F South block, Guoco Changfeng City, No.1 Lane 556, Daduhe Road, Putuo District, Shanghai 電話：+86-21-6226-5589
シンガポールショールーム 137 Cecil Street, #01-01/04 Hengda Building Singapore 069537 電話：+65-6224-7995	バンコクショールーム 3199 Maleenont Tower 19th Floor, Rama4 Road, Klongton, Klongtoey, Bangkok 10110, Thailand 電話：+66-2661-5474~79
ジャカルタショールーム MidPlaza-2 22nd Floor, JL Jenderal. Sudirman Kav 10-11, Jakarta Pusat 10220, Indonesia 電話：+62-215723925	ハノイショールーム CP2.L.02, 19 Floor, Capital Place, No 29 Lieu Giai St., Ngoc Khanh Ward, Ba Dinh District, Hanoi 電話：+84-24-7300-6879

海外提携

オフィス環境

Pro-cord S.p.A.社[イタリア]
ミーティングチェア

WIESNER HAGER社[オーストリア]
ミーティングテーブル・チェア

erlab社[フランス]
グリーンヒュームフード

LAMMHULTS MÖBEL AB社[スウェーデン]
ミーティングテーブル・チェア

商環境

Visplay社[ドイツ]
店舗用システム什器

物流システム

AutoStore社[ノルウェー]
ロボットストレージシステム

OCS社[スウェーデン]
天井搬送機器

RightHand Robotics社[アメリカ]
ロボットピッキングシステム

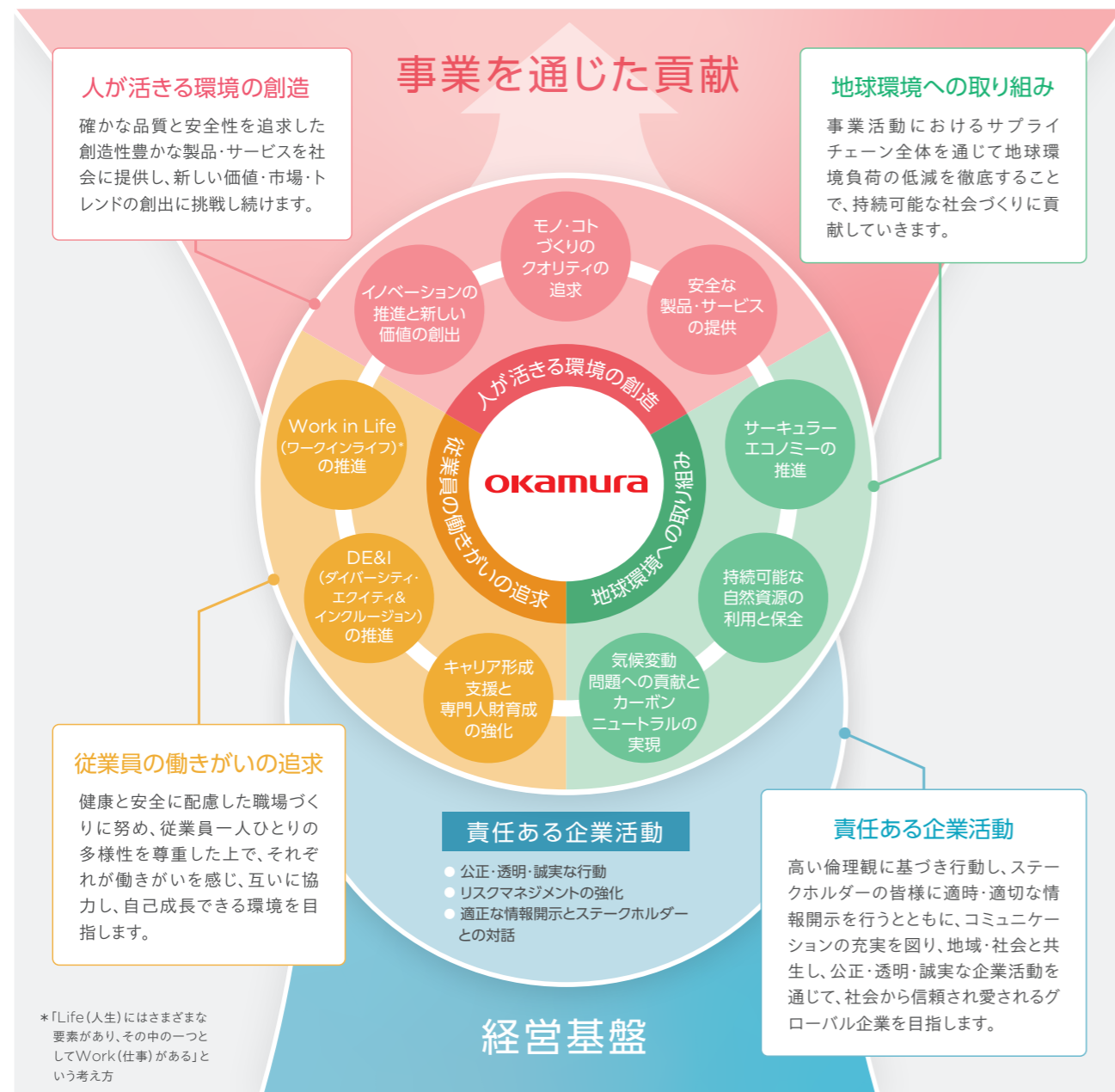
FORTNA社[アメリカ]
搬送・仕分け機器

持続可能な社会に向けて

オカムラグループは、パーパスである「人が生きる社会の実現」に向け、「豊かな発想と確かな品質で、人が生きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をミッションとして、すべての人々が笑顔で生き活きと働き暮らせる社会の実現を目指しています。「人が生きる社会の実現」には、サステナビリティを中心に捉えた事業活動が重要であるとの認識のもと、経営の重要課題(マテリアリティ)を特定し、4つの分野で取り組みを推進しています。

「責任ある企業活動」を経営基盤とし、「従業員の働きがいの追求」によって一人ひとりが生き活きと働きがいを感じるとともに「地球環境への取り組み」を実践することでサプライチェーン全体を通じて環境負荷を低減していきます。事業活動を通じて「人が生きる環境の創造」を実践することにより人が生きる社会の実現に貢献します。

オカムラグループのマテリアリティ(経営の重要課題)



人が生きる環境の創造

誰もが生き活きと働ける職場環境の整備と提案

オカムラでは、心と体の調和が取れ、活力が向上している状態を「WELL at Work(ウェルアットワーク)」とし、従業員がパフォーマンスを最大限に発揮しそれぞれの働きがいが向上を目指すための空間づくりや働き方の提案をしています。東京都渋谷区の自社オフィス「CO-EN LABO(交縁ラボ)」は、「WELL at Work」の実現を目指したラボオフィスです。人の健康とウェルビーイング(身体的、精神的、社会的に良好であること)に影響を与えるさまざまな機能をパフォーマンススペースで測定・評価・認証する「WELL v2」の認証レベル「プラチナ」を取得しました。調節機能を備えたタスクシーティングやさまざまな姿勢に対応する電動昇降デスクのほか、環境認証を取得した自社製品を多数導入。さまざまなコミュニケーションスペースや、プライバシーを確保した仮眠スペース、運動・休息スペースを設置、サウンドマスキングの導入も行っています。空間づくりや働き方の提案を通じて、誰もが生き活きと働く環境の実現を目指します。



共創により未来の店舗のあり方を描き出す活動を開始

2024年4月に、「お店のみらいを創造する研究所(愛称:みせいくラボ)」を発足しました。昨今、消費者や小売業を取り巻く環境は大きく変化しており、新しいお店のあり方が求められています。「みせいくラボ」は、社会や市場、業界、技術の動向を捉え、未来の小売りに関わる調査研究を行い、顧客である小売業やパートナー企業、社外研究者などのさまざまな立場の人との共創活動を通して10年先の未来の店舗像を描き出します。お店づくりを通して人と人とのつながりをデザインし、よりよい未来の暮らしに貢献します。



物流自動化ソリューションの事業化に向けた調査研究

物流施設において、ピッキング作業の自動化と遠隔操作により場所と時間にとらわれない新しい働き方を創造する「PROGRESS ONE(プログレスワン)」の事業化に向けた取り組みを進めています。その一環で、ピッキングロボットを遠隔操作した際の力覚フィードバック効果の調査研究をモーションリブ株式会社と共同で実施しました。この研究は国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が2022年度に公募したプロジェクト「ロボットによる社会変革推進に向けたロボット・AI部事業の周辺技術・関連課題に係る先導調査研究」の一つに採択されました。オペレーターが遠隔でピッキングを行う際に、操作画面での視覚的な判断だけでは物をつかむ操作が困難なことが課題となっており、この研究では、オペレーターによる遠隔作業の際に、ロボットが物体と接触した時の引っ張られる・押されるなどの力覚情報を人に知覚させる力覚フィードバックが重要であることを実証し、課題を検討しました。今後も継続して「PROGRESS ONE」の事業化に向けた研究や開発を進めていきます。



働き方・働く場に関する調査・研究、情報発信

オカムラでは、1980年より働き方や働く場に関する研究所を設け調査・研究を続けています。社会の動向や人々の意識の変化を捉えた研究テーマを設定し、大学や研究機関などさまざまな専門分野の研究者と連携しながら、一步先の働き方と働く場を探求します。各種学会や研究会、研究冊子・ウェブサイトなどを通して、研究結果や知見を広く社会に発信しています。また、働き方や働く場をさまざまなステークホルダーと共に描き、「はたらく」を変えていく活動「WORK MILL(ワークミル)」を推進しています。



「KNOWLEDGE - WORK DESIGN REVIEW 2023」(2023年11月)
 「「行きたくなる」オフィス集う場のデザイン」(2024年4月)

WORK MILL
<https://workmill.jp/>

地球環境への取り組み

気候変動への対応

オカムラグループではスコープ1およびスコープ2の温室効果ガス排出量について、「2030年度に2020年度比50%削減」「2050年度に実質ゼロ」、スコープ3の排出量について、「2030年度に2020年度比25%削減」という目標を設定しています。この目標は、パリ協定に準じた世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑えるための科学的根拠に基づいているとして、国際的なイニシアチブ[SBTi (Science Based Targets initiative)]による認定を取得しました。

また、TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に基づき、気候変動によるリスクおよび機会が経営に与える影響を評価し、適切な情報開示を行うとともに、中長期的視点から経営戦略に反映させていきます。



国際的イニシアチブへの参加

環境・社会・経済の課題解決に関連して、各種イニシアチブに参加しています。

オカムラは、国際連合が提唱する、持続可能な社会を実現させようとする国際的な取り組み「国連グローバル・コンパクト」に署名し、2020年2月に参加企業として登録されました。「RE100」は、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを旨とする企業協働イニシアチブで、オカムラは2022年3月に加盟しています。「気候変動イニシアティブ(Japan Climate Initiative)」は、気候変動対策に積極的に取り組む企業や自治体、NGOなどの情報発信や意見交換を強化するためのネットワークで、オカムラは2019年12月に会員になりました。持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ「日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)」には、「RE100」への加盟と同時に加盟しています。



健康経営

「Work in Life」の基盤として健康経営を位置づけ、「オカムラ健康経営宣言」および「オカムラ健康経営の考え方」に基づいた体制を構築し、健康診断や疾病予防対策の充実、年次有給休暇取得促進などの取り組みを進め、従業員の健康に配慮した職場づくりに努めています。また、従業員の健康意識向上を促し、自ら健康増進に向けて取り組めるよう、ヘルスリテラシー教育や情報発信を行っています。



人財育成

オカムラでは、従業員一人ひとりが未来のキャリアを描き続け、多様な経験を通じて成長し続けることを「オカムラキャリアジャーニー」と定義しました。会社が提供する相互理解の機会、学び続ける機会、挑戦する機会を、従業員自らが活用し一人ひとりが「自分にとって価値のある人生」の実現と日々の成長につなげていけるよう、キャリア支援の環境を整備しています。

責任ある企業活動

オカムラグループは「創造、協力、節約、貯蓄、奉仕」の5つの言葉からなる社是と、これを受けた「基本方針」に基づき責任ある企業活動を行うために、全従業員への「行動規範」の徹底を図っています。コーポレート・ガバナンスの強化を経営の最重要課題の一つと捉え、グループ経営体質の強化を図るとともに、ステークホルダーの皆様との関係強化に努め、企業価値の最大化を追求します。地域の社会活動・環境活動などへの参加を通じて交流や社会貢献に努めるとともに、事業活動の中で蓄積してきた知見と経験を生かし、人財の育成や社会課題の解決に向けた情報発信・場の提供などを通じて、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

主な認定・アワード実績



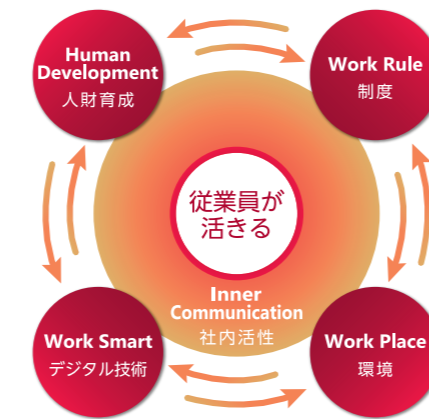
従業員の働きがいの追求

働きがい改革 WiL-BE 2.0

オカムラは、「働きがい改革 WiL-BE (ウィル・ビー) 2.0」を通じて、従業員一人ひとりの「Work in Life (ワークインライフ)」の実現を支援しています。「Work in Life」の実現とは、一人ひとりが人生を総合的に捉えたときに「働く」が人生のプラスになるように、主体的に行動できている状態を指します。

「働きがい改革 WiL-BE 2.0」は、5つのアクション (Inner Communication、Human Development、Work Rule、Work Smart、Work Place) をベースに、従業員の「働きがい」向上に向けたさまざまな取り組みを推進しています。

「働きがい改革 WiL-BE 2.0」のアクションイメージ



ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)の推進

2023年10月に、「ダイバーシティ&インクルージョン方針」を「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン方針」に改定しました。「多様性の受容」に加え「公平性」の考え方を基本に、さまざまな属性・価値観・発想を持つ人財を積極的に採用し、一人ひとりの従業員が働きやすく、十分に能力が発揮できる職場環境の整備に努めるとともに、社会・文化の多様性や環境の変化に柔軟に対応できる企業文化の醸成に結びつけています。



コミュニケーションツール



統合報告書

中長期的価値創造に向けた経営方針、事業戦略など、財務情報と非財務情報を統合的に報告しています。(毎年10月発行)

IR情報 統合報告書
<https://ir.okamura.co.jp/library/integrated-report/>

サステナビリティレポート

幅広いステークホルダーの皆様に向けたサステナビリティに関する活動などの非財務情報を開示しています。(毎年7月発行)

オカムラグループのサステナビリティ
<https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/>

「人が生きる」を考えるメディア

「人が生きる社会の実現」を目指すオカムラのカルチャーや取り組みを紹介するウェブメディアです。

Okamura Live :) (オカムラライブスマイル)
<https://live.okamura.co.jp/>

会社概要

社名	株式会社オカムラ(OKAMURA CORPORATION)		
登記上本社	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-7-18		
本社	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19F TEL 045(319)3401(代表)		
創業	昭和20年10月(1945年)		
資本金	18,670百万円		
従業員(単体)	3,940名 [2024年3月31日現在]		
従業員(連結)	5,491名 [2024年3月31日現在]		
主な事業内容	スチール家具全般の製造・販売 産業機械その他の製造・販売 金属製建具取付工事の請負 建築業に関わる付帯工事・設計・製造・販売 商品陳列機器その他の製造・販売 各種セキュリティ機器に関わる付帯工事・設計・販売 各種医療機器その他の機械器具の設計、製造ならびに販売 事務所の環境向上と事務・生産効率向上に関する情報の提供とこれに関連する機器の製造・販売 他		
取引銀行	三菱UFJ銀行／横浜銀行／みずほ銀行／その他当社支店所在地の各銀行本支店		
株式	株主数	10,202名 [2024年3月31日現在]	
	発行済株式総数	100,621,021株	
	決算期	3月	
許認可	建設業許可	許可番号 : 国土交通大臣許可(特-3)第7238号 建設業の種類 : 建築工事業・とび／土工工事業・管工事業・内装仕上工事業・電気工事業・鋼構造物工事業・機械器具設置工事業・建具工事業 許可番号 : 国土交通大臣許可(般-3)第7238号 建設業の種類 : 電気通信工事業 一級建築士事務所登録 登録番号 : 東京都知事登録第19670号 高度管理医療機器等販売業・貸与業登録 許可番号 : 第4501200249号 第三種医療機器製造販売業 許可番号 : 13B3X10208	

取締役及び監査役

代表取締役 社長執行役員	中村 雅行
取締役 専務執行役員	河野 直木 オフィス環境事業本部長
取締役 常務執行役員	山木 健一 コーポレート担当 井上 健 商環境事業本部長 荒川 和巳 生産本部長
取締役 執行役員	福田 栄 コーポレート担当
取締役(社外)	伊藤 裕慶 (株)キーストーン・パートナーズ 社外監査役 狩野 麻里 (学)昭和女子大学全学共通教育センター 特命教授 上條 努 大成建設(株) 社外取締役 菊地美佐子 (学)聖路加国際大学 常勤監事 水本 伸子 (株)トクヤマ 社外取締役監査等委員 丹保 人重
監査役	永井 則幸 萩原 圭一
監査役(社外)	岸上 恵子 公認会計士 宮崎信太郎 弁護士

執行役員

常務執行役員	佐藤 喜一 コーポレート担当
上席執行役員	田尻 誠 物流システム事業本部長 酒徳 真司 商環境事業本部 リテイル・ソリューション本部長 大野 嘉人 海外営業本部長
執行役員	近藤 岳文 オフィス環境事業本部 営業本部 施設環境ソリューション事業部長 佐藤 春徳 オフィス環境事業本部 営業本部 首都圏営業本部長 有吉 真二 オフィス環境事業本部 営業本部 関西支社長 寺西 郁 商環境事業本部 営業本部 首都圏営業本部長 加藤 達也 生産本部 第二事業部長 菱沼 博幸 生産本部 第一事業部長 眞田 弘行 オフィス環境事業本部 マーケティング本部長

関係会社 (他17社 合計42社)

国内	(株)オカムラサポートアンドサービス	海外	Okamura International (Singapore) Pte Ltd
	(株)エフエム・ソリューション		奥卡姆拉(中国)有限公司
	(株)ヒル・インターナショナル		奥卡姆拉(上海)実業有限公司
	(株)Td Japan		杭州岡村伝動有限公司
	セック(株)		PT. Okamura Chitose Indonesia
	(株)関西オカムラ		Siam Okamura Steel Co., Ltd.
	(株)エヌエスオカムラ		Siam Okamura International Co., Ltd.
	(株)山陽オカムラ		Okamura International Malaysia Sdn. Bhd.
	(株)富士精工本社		Okamura International Vietnam Co., Ltd.
	砂畑産業(株)		DB&B Holdings Pte.Ltd
	(株)オカムラビジネスサポート		杭州奥卡姆拉家具有限公司
	(株)イチエ		浙江杭叉奥卡姆拉智能科技有限公司
	(株)NovolBa		

人を想い、場を創る。
OKamura

ホームページアドレス <https://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は
お客様相談室へ

フリー
ダイヤル  **0120-81-9060**
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

株式会社オカムラ